

光市記者発表資料

平成 29年 11月 30日

件名 「平成29年度 光市人権を考えるつどい」の開催について

内容

- 1 目的 市民一人ひとりの人権が尊重された心豊かな地域社会の実現に向けて、様々な視点で、身の回りにある人権に関する問題について考え、人権尊重の意識を高める。
- 2 日時 平成29年12月17日(日)
13時45分から15時40分(受付12時30分から)
- 3 場所 光市民ホール
- 4 主催 光市 光市教育委員会
- 5 参加者
(規模) 600人程度
- 6 日程 開会行事 (市長挨拶、来賓挨拶(市議会議長)、来賓・主催者紹介)
13時45分から14時00分
講演会 14時00分から15時30分
講師 大前 光市氏(義足のプロダンサー)
演題 「誰にでも輝ける場所がある」
閉会行事(教育長挨拶) 15時30分から15時40分
- 7 その他 (1)市民ホールロビーでは、人権パネルの展示、「人権の花」育成記録展(光井小、三井小、東荷小)、光市中心身障害者福祉作業所つつじ園の物品販売を開催します。
(2)会議室では、人権啓発ビデオの放映を行います。
(3)駐車場は、市民ホール駐車場、浅江中学校、島田川河川敷をご利用ください。
(4)一般来場者は、講演会の撮影禁止です。報道関係者の撮影は可能ですが、フラッシュは使用しないようにお願いします。

問合せ

担当課 光市教育委員会 人権教育課

担当者 弘中 達也

電話 (0833)74 - 3603



平成29年度

光市人権を考えるつどい

リオデジャネイロパラリンピック閉会式出演

おおまえ こういち

講師

大前 光市

(義足のプロダンサー)

トーク&ダンスライブ

大阪芸術大学でクラシックバレエを学ぶ。卒業後、プロダンサーとしてスタートを切った23歳の時、交通事故で左膝下を切断。片足でも踊り続けるために、幅広いジャンルの動きを学び、長短様々な義足を使い工夫することで、世界にふたつとないダンススタイルを築く。

2009年、世界的ダンサーで振付家のアレッシオ・シルヴェストリンの作品に出演、片足でも魅せられるダンサーとしてその名を知られるようになる。

2010年、全日本洋舞協会合同公演・なにわ芸術祭では、舞踊作家部門新人賞および大阪府知事賞を受賞。

その後も活躍の幅を広げ、国内外の舞台に多数出演するなど、各方面で活躍。

マイレン・トレウバエフ(新国立劇場バレエ団でプリンシパルとして活躍)

「今の日本に彼の放つ存在感と表現力を超えるダンサーはひとりもいない。」

「誰にでも輝ける場所がある」



日時

平成29年12月17日(日) (12時30分～受付)

会場

光市民ホール

入場無料

大ホール

13:45~14:00 **開会行事** 市長挨拶・来賓挨拶(市議会議長)
来賓主催者紹介

14:00~15:30 **講演** テーマ「誰にでも輝ける場所がある」

15:30~15:40 **閉会行事** 教育長挨拶

ロビー

12:30~15:40

- ・人権パネル、人権ポスター
- ・小学生による「人権の花」育成記録展
- ・福祉作業所物品即売

会議室

12:30~13:40

人権啓発ビデオ放映
30分程度のビデオを2本放映します

主催：光市、光市教育委員会

共催：光市人権教育推進協議会 光市学校人権教育研究会 光市人権教育指導者研究会

問合せ：光市教育委員会人権教育課(TEL 0833-74-3603)